

FIBAバスケットボールワールドカップ2023

終 籠助

「カーポベルデ」と聞いて、直ぐに分かる人はどれくらいいるだろう。

8月25日から9月10日まで、フィリピン・インドネシア・日本で開催されたワールドカップで日本が5試合目に対戦した相手国の名前だ。一次リーグはAからHの8グループで4チームが対戦。グループEの日本は初戦ドイツに63-81で負け。しかし次戦フィンランドには河村勇輝選手の活躍で98-88勝ち。ちなみに日本がヨーロッパの国に勝ったのはこれが初めて。次のオーストラリアには89-109で敗れ一次リーグ突破はならず17-32位に進む。しかし今大会の大事なのはここからで、2024パリオリンピックの出場権がかかっているから。アジアの参加国の中で最上位になればOKなのだ。順位決定戦初戦はベネズエラ、ベテラン比江島慎選手の活躍で86-77勝ち。続くカーポベルデ(ここで登場)戦はネブラスカ大学の若手、富永啓生選手の3ポイントが炸裂し80-71。通算成績3勝2敗で19位となり見事パリオリンピック出場権獲得となった。

バスケットボールがオリンピックに出られるのは2021TOKYOが自国開催枠だったので、自力で出場権を得たのは1976モントリオール以来48年振りの出来事。あの時筆者は21歳、高校時代の二級上の先輩が日の丸を胸にオリンピックに行ったんだと遠い昔を思い出す。(全敗でした)

ワールドカップ始まる前は、NBA ロサンゼルスレイカーズで活躍している八村塁選手が参加しないので残念だし心配だったが、そんな不安を吹き飛ばしてくれた代表チームのプレイだった。ごたごた続きだった日本のバスケットボール界も2016年新しいプロバスケットボールのBリーグ誕生からようやくオリンピックに出場できるところまできたと感慨深い。

パリオリンピック楽しみだな。(テレビ応援だけ)

